

区政への一般質問 (要旨)

全文は、板橋区議会ホームページに掲載します



中妻じょうた
(民主党)

積極的なPPSの導入を

【質 問】東京電力(株)以外の電気事業者であるPPS(特定規模電気事業者)の積極的な導入で、原発からの脱却を【区 長】導入の可否については十分検討を進めていく。

中学柔道授業の成功のために

【質 問】①柔道指導経験者の積極的活用を。②体育や部活動では事故につながる事例を収集し、事故防止に活用を【教育長】①区内の指導経験者に授業への協力を働きかける。②収集した事例を各校で情報共有し、安全な指導への意識向上を図る。

放射線対策の充実を

【質 問】①除染基準は、子ども(1歳未満)を考慮し、地上60cmで毎時0.23マイクロシーベルト以上が妥当では。②リスクコミュニケーションとは、社会のリスクについて関係者と市民が正しい情報を共有し、相互の理解と協力を作り上げる手法。区職員へこの手法の研修を。③宮城県女川町の災

害廃棄物受入れにあたっては、丁寧な住民説明会の実施を。



女川町のがれき一時仮置場

【区 長】①国の方針に準じて地上1mで毎時0.23マイクロシーベルト以上とした。幼稚園、保育園、公園では地上50cmで測定している。②リスク発生時の職員の対応力強化に努める。③誠意を持った分かりやすい説明を行い、住民に理解と協力を求める。

※以上のほか、高島平団地高齢者地域包括ケア検討委員会、災害時における個人情報取扱い、サイバー攻撃への備え、障がい児向け移動支援事業、介護予防・医療費抑制のため、の太極拳の普及について質問があった



長瀬達也
(合同クラブ)

視野を広げた防災対策を

【質 問】①企業、大学、病院と連携した大規模震災訓練の実施を。②一斉帰宅の抑制と企業の物資備蓄の促進を。【区 長】①医師会などと訓練参加を協議中。多くの企業や団体の参加で訓練の充実に取り組み。②関係団体や事業者と協議し、帰宅困難者の発生抑制と物資備蓄を促進する。

区内交通網の整備促進を

【質 問】①かつて東武鉄道(株)が計画した西新井と板橋を結ぶ西板線を再度提案し、環八通り沿いの環状鉄道となるエイトライナーの整備促進を。②足立区、墨田区では鉄道立体交差化が進んでいる。早急に東上線立体交差化の推進を。



大山駅の踏切

【区 長】①西板線計画の区間は、整備にあたり重要。板橋、北、足立の3区の連携のあり方を検討する。②都との連携が重要。都における東上線立体化の位置付けが高まるように強く働きかける。※以上のほか、財団法人板橋区中小企業振興公社について質問があった



安井一郎
(自民党)

地域防災計画、被害想定、減災対策について問う

【質 問】①地域防災計画の改定にあたり被害想定はどのように見直すのか。②大震災発生時に不幸にも亡くなる方の遺体や遺骨の取扱いは。③延焼拡大の危険性が高い地域の延焼防止のための対応は。④災害時には被害状況の把握被災者支援など二次災害も含め、被害軽減のためには自衛隊の災害派遣の受入れが不可欠である。災害時に区への派遣が想定される自衛隊練馬駐

屯地の部隊との連携を深めよ。【区 長】①都は被害想定を24年春頃に見直す。被害想定を行うことは専門性が高く、広域的な推計が必要のため今後とも都の被害想定を活用し、地域防災計画に反映させる。②区内の寺院や病院で対応可能だが、赤塚体育館を遺体収容所に位置付けている。③都との連携を図り、消防水利の拡充を推進する。④東日本大震災の際に連絡要員の派遣を受け、総合防災重点地区訓練にも参加。今後も区を担当区域とする部隊との連携を深め



河野ゆうき
(自民党)

木造住宅耐震化について問う

【質 問】①なぜ木造住宅の耐震化が進まないのか。②木造住宅耐震化推進助成の補助率を上げるべきでは。③今の耐震診断の制度で十分か。【区 長】①対象建築物の違反件数が多いことが原因と考えられる。②限られた予算で多くの人に利用してもらうため、現在の制度とした。③効果的な啓発活動を行い、耐震化の推進を進めていく。

被災地に寄り添った支援を

【質 問】忘れないこと、風化させないことが大切。オージャパンで被災地に寄り添って引き続き支援を。



被災地支援をする板橋区職員

高一小の防災教育の推進を

【質 問】東京大学地震研究所の協力などを受け、全国的に評価されている高一小の防

上下水、清掃工場、荒川、新河岸川を利用した事業創設を【質 問】①消費税増税だけでなく生活が苦しくなるのが実情。区民を含めた国民全体の所得を上げることが必要では。②区内には三園浄水場、下水処理場である新河岸水再生センター、高島平清掃工場が存在する。一つの区内に浄水場、下水処理場および清掃工場が存在する地域は珍しいと思うが見解は。③区内にある浄水場、下水処理場、清掃工場およびそれらを稼働させるのに必要な電力施設を備え、これらを一体化したプラントを構築し、この技術を海外に輸出すべき。【区 長】①事業者と連携し、区内産業の振興に努め、区民

高齢者への訪問機能訓練を

【質 問】柔道整復師による機能訓練を実施することは、高齢者の身体機能の低下を抑止できるなど非常に有効である。よって柔道整復師による引きこもり高齢者に対する訪問機能訓練の実施を。【区 長】引きこもりは身体機能の低下や自閉傾向による社会性の喪失など問題がある。解決には医療的な対応などを含む総合的な対策が必要。

の所得引上げにつながる施策が必要と認識。②区には都市の機能を維持する基盤が整っていること認識。③新産業の創出育成には、構造改革特区の活用など様々な可能性を大胆に追求する。地域資源活用により目を向けながら区内産業の活性化に全力で取り組む。

災害教育を区内全校に進めよ。【教育長】校長研修会では、高一小校長を講師に迎え、避難訓練ビデオを使い防災教育の実践を学んでいる。成果が各校に持ち帰られ、避難訓練の改善を含めた防災教育の見直しが進められている。

大山まちづくりの未来予想図

【質 問】下板橋日大病院トラボリス(高度福祉医療拠点)構想の実現と現日大病院敷地に日大他学部を移転、補助26号線のハッピーロード交差部分の掘削化、東上線の地下化、線路跡にグリーンベルト、路線バスが複数発着する駅前ロタリー、LRT、地下鉄仲



かいべとも子
(公明党)

防災対策について

【質 問】①ハザードマップに避難場所の明示を。②地域別防災マップの作成を。③防災備蓄品の見直しを。④防災教育の今後の取組みは。【区 長】①表示方法を工夫し、より分かりやすくしたい。②防災マップの改善に向けた検討を進める。③24年度に備蓄体制の再構築を行う予定。

区役所南館改築における区民サービスの向上を

【質 問】①銀行ATMの増設を。②食堂で、タニタレシビを取り入れた健康な食の提供を。③障がい者への明るく広い販売コーナーの常設を。

【質 問】①増設は厳しい。②検討を進める。③提案の趣旨を踏まえ配慮をしていく。

「赤ちゃんタイム」の実施を

【質 問】幼児連れの親子が気兼ねなく図書館を利用できる「赤ちゃんタイム」の実施を。【教育長】導入を検討する。

交番空白地域の解消を

【質 問】坂下交番を舟渡地域に移設するよう働きかけを。【区 長】志村警察署に働きかけをしていく。

【質 問】①都の災害廃棄物処理支援への見直し。②女川町の災害廃棄物を板橋清掃工場へ受け入れる際には放射線量の測定結果の情報提供を。

(裏面に続く)